

ンセラーによる週1回カウンセリングを実施する体制としたが、その後の相談件数の増加に伴い、2001年度（平成13）からは週2回、2008年度（平成20）からは週3回、2012年度（平成24）からは週5回と実施回数を増やし、心身の様々な悩みを持つ学生からの相談に対応している。

表5.1 健康相談の件数（相談に訪れた学生数）

年 度	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
養護担当職員(射水)	82	89	119	135	110	98	141	134	257	271
養護担当職員(富山)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	432
カウ ン セ ラ ー	47	33	31	33	32	23	26	31	57	57
合 計	129	122	150	168	142	121	167	165	314	760

IV 自治活動

学生の自治活動は自治組織の「富山県立大学学生会」を軸として行われている。学生会は、学部生を構成員とする一つの組織である。学生会の財政は、学生1人あたり20,000円の会費によるが、これは入学時に一括納入することになっている。

学生会にかかわる諸活動は、大別して2種類であり、その一つは学生会執行部が直接関与するもの、他の一つは「学内団体」（文化系・体育系サークル等）に関するものである。学生会執行部が直接主導して実施・参加している行事は学生球技大会、大学祭、スキー講習会、その他学生にかかわる事項である。これらはいずれも学生生活の幅を広げ多様で豊かな交流の機会を提供して、人間関係を深めようとするものである。

大学祭は、休日を含めて三日間にわたって実施される。学生会執行委員から選出された実行委員長のもとに結成された実行委員会によって行事計画が作成され、個人・ゼミ・サークルなどを単位として参加できるようになっている。大学祭の問題点は、①全期間に常時参加する学生数が過半数に達しないこと、②地域住民・保護者・高校生などの学外者の参加が相対的に多くないこと、③学内者・学外者を積極的に参加させる行事企画に悩むこと、などである。これは、本学が小規模で学生総数が少ないことに起因する。学内外の参加者を増やす企画と努力が大規模大学よりも一層必要とされる。

「学内団体（サークル等）」は設立手続き、組織、その他活動の諸条件などが「富山県立大学学生規程」に定められている。団体の設立は、本学教員（専任講師以上）を顧問として学長に許可願いを提出することになっている。団体結成許可願は内容を学生委員会で審議する。「学内団体」の推移を表5.2に示す。

サークル活動について、学生会と学生委員会が話し合い、1992年度（平成4）から両者共催で「サークルリーダー研修会」を実施している。研修会は、①大学サークルのあり方、②サークル活動の安全管理、③サークル運営の方法と事務手続きなどを主題として、学生と教職員が参加して実施されている。

なお、サークル活動費は原則として部費と臨時の活動費によることになっているが、部員負担に限度があるため、サークル活動に関連して比較的が多額の支出を要する備品類などはサークル助成金として、「富山県立大学後援会」（後述）からの援助によって購入され

る場合がある。

表5.2 学生サークル数の推移

年 度	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
文 科 系	15	14	13	14	17	18	19	17	18	17
体 育 系	16	16	18	19	15	19	20	17	17	19
計	31	30	31	33	32	37	39	34	35	36

V 卒業および後援会、同窓会

学部、大学院、短期大学部、同専攻科では正式の呼称は異なるが、ここでは卒業という言葉を用いる。以下に、卒業と卒業後の進路、後援会、同窓会について述べる。なお、看護学部は2020年度（令和2）現在では、卒業生がいないため同窓会は存在しない。

1. 卒 業

卒業および卒業後の進路の状況を資料5.4に示す。この表から、入学者の履修状況の概略、すなわち留年学生および退学者の割合などを見ることができる。

資料5.5は退学者数と退学の理由を示す。学生が退学を申し出た場合には、学生部長が本人や本人の保護者等と面談し、事情をよく聞き助言を与える。退学の理由は、就職、進路変更、他大学進学などである。就職は、標準修了年限を過ぎた学生が、経済的理由や勉学への興味を失ったことなどから就職を目指すケースが多い。進路変更は、他の大学を受験し直したい、あるいは専門学校等へ進学したいという者が多く、他大学進学のために退学する場合は入学後2年以内が多い。なお、単位取得が不十分な学生には、その科目の担当教員が随時注意を促すことがあり、また、単位不足者及びその保護者に対し警告を促す文書を送付している。

学部生の卒業後の進路については、進学が約3～4割、就職が約6～7割である。就職希望者の就職率は例年ほぼ100%を達成しており、「就職に強い大学」として評価を受けている。また、進学者については、ほとんどは本学大学院に進学している。

2. 後援会

富山県立大学後援会は、全学を対象にしている、①学生の福利厚生に関する事業、②学生の就職開拓に関する事業、③学生の福利厚生施設・備品の充実に関する事業、④学生の国際交流に関する事業、⑤大学と保護者又は保証人との連絡に関する事業、⑥その他必要と認める事業として学生会行事、サークル活動等に対する後援を行っている。

会員は、正会員として、大学に在籍する学生の保護者又は保証人、特別会員として、本会の趣旨に賛同する者からなる。会費は、学部生が50,000円、学部編入者が25,000円、大学院工学研究科が10,000円となっている。

会計は、一般会計の他に、学生の不測の事故等に係る緊急事態への対応並びに円滑な支援活動に資することを目的に学生緊急支援基金、学生が中国を含めた諸外国との交換留学等、国際交流活動に助成することを目的に国際交流支援特別会計、学生の教育環境向上の